

白露の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

災害時難病患者受け入れ訓練について

難病診療拠点病院・難病診療分野別拠点病院・難病医療協力病院
におかれましては、令和6年8月22日（木）に行われました静岡県
総合防災訓練の難病患者受け入れ可否照会へご協力をありがとうございました。
訓練状況は、以下の通りです。



＜当日の訓練の状況＞

8時34分 県疾病対策課から拠点病院へ訓練メールが送信

8時45分 拠点病院から協力病院へ難病患者受け入れ可否状況照会を一斉送信

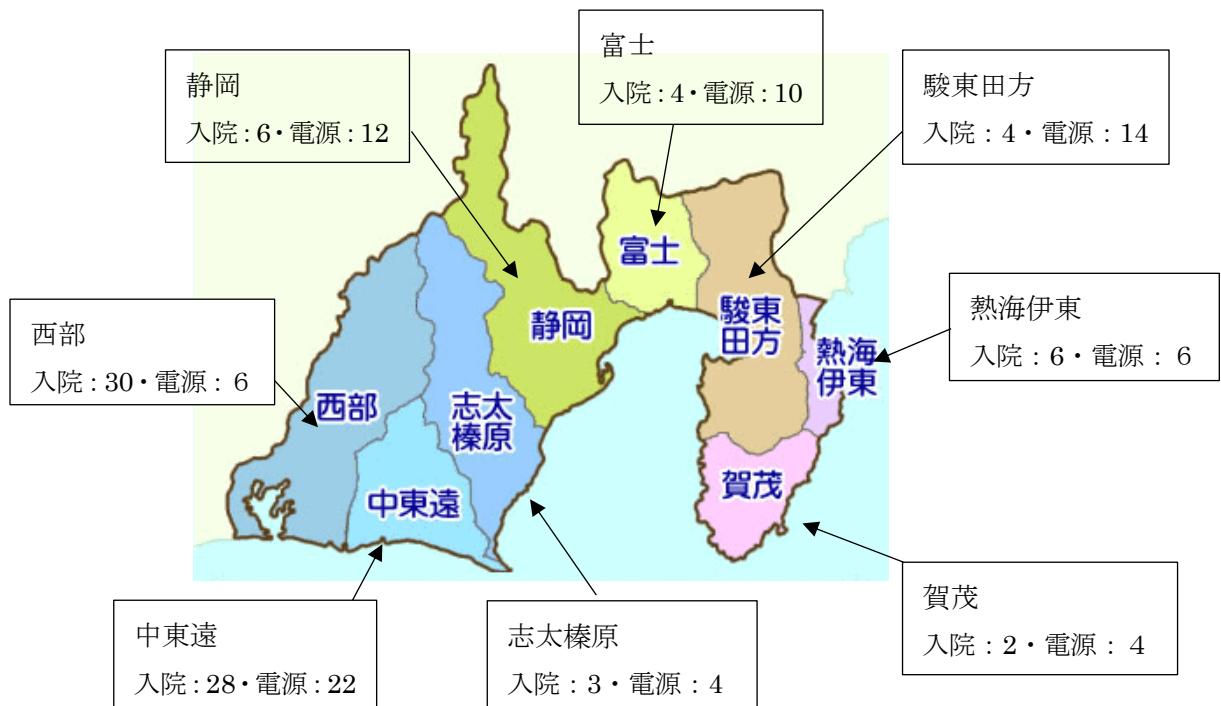
10時00分 拠点病院から県疾病対策課へ照会状況を報告

・協力病院から拠点病院への報告数 25

・人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数 ※拠点病院も含む

【入院】76人 【電源のみ】131人

10時30分以降の返信を含め、本訓練全体では、拠点病院への総報告 27 病院・
人工呼吸器装着者受け入れ可能総人数【入院】83人・【電源のみ】135人でした。



南海トラフ巨大地震は 30 年以内に 70%～80%の確率で発生すると予測されて
います。災害対応窓口ご担当者変更時は当室へご連絡をお願いいたします。

令和6年度難病医療従事者講習会(Web)について

<第1回>【終了】

配信期間：令和6年5月7日（火）～令和6年6月30日（日）

テ ー マ：サルコイドーシス 講 師：浜松医科大学 教授 乾 直輝 先生

<第2回>【終了】

配信期間：令和6年7月1日（月）～令和6年9月1日（日）

テ ー マ：特発性間質性肺炎の病態生理と支援の留意点

講 師：浜松医科大学医学部附属病院 呼吸器内科 榎本 紀之 先生

You-Tube 再生回数：298 回 実施後アンケート回収数：56（回収率 18.8%）

アンケート結果：今後の業務の参考になった。（94.4%）

- ・講習会の内容を症状観察に活かしたい。
- ・特発性間質性肺炎の最新の情報を知ることができて参考になった。
- ・略語が難しかった。

<第3回>【開催中】

配信期間：令和6年9月2日（月）～令和6年10月31日（木）

テ ー マ：在宅で使用する人工呼吸器に必要な知識と留意点

講 師：浜松医科大学医学部附属病院

医療機器管理部 臨床工学技士 中村 元春 先生



アンケートに寄せられたご意見へ

<テーマについて>

講師依頼時期により、即時ご希望に添えておらず申し訳ありません。



<開催方法について>

多くの Web 開催希望を受け、今後も Web で実施する予定であります。

配信期間は、制度の変更や治療・ME 機器の更新を考慮し、今後も期間限定での配信を考えております。

<難病医療費助成制度について>

指定難病患者への医療費助成制度については、
難病情報センター・厚生労働省等にご案内がございます。



【難病情報センターHP】

難病情報センターHP へのQRコード

[指定難病患者への医療費助成制度のご案内 - 難病情報センター \(nanbyou.or.jp\)](https://nanbyou.or.jp/)

【厚生労働省 HP】

[難病対策 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](https://mhlw.go.jp/)



厚生労働省 HP へのQRコード

